

【様式】

令和3年度 学校マネジメントシート

学校名 (桑名西高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		<ul style="list-style-type: none"> ○自らの意志で学び、より高みに向かおうと挑戦する意欲にあふれた学校 ○協働と交流を通して、たくましく生きる力と他者への思いやりが育つ学校
(2)	育みたい 児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の興味関心や適性、働くことの意義や社会貢献について深く考え、自分の進路を主体的に決めることができる。 ○学習活動や特別活動、部活動に自主的、協同的に取り組み、社会で必要とされる力とそれを支える確かな学力、豊かな人間性を身に着ける努力ができる。 ○基本的な生活習慣等、人としてのあり方生き方のすべてにつながる土台となる部分が定着し、他者への配慮ができる。
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> ○目指す学校像の実現に向け、教職員一人ひとりが「誰のため、何のため」を常に意識して自己研鑽に努めるとともに、協力して取り組んでいる。 ○すべての教育活動で、生徒が知る喜びや学ぶ楽しさを実感でき、思考力・判断力・表現力をはぐくみ、主体的に取り組むことができるように工夫改善に努めている。 ○教職員が互いに切磋琢磨し、生徒と共に成長する活気にあふれた職場を目指している。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本から様々な進路希望に対応した内容まで、興味関心を喚起する授業。 ・大学進学を中心に自分の力を伸ばし進路希望が実現できるきめ細かい指導・支援。 ・安心して豊かな学校生活を送るための教育環境と、学校行事、生徒会活動、部活動の充実。 <p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力伸長と進路希望実現に向けた学習指導・進路指導・生徒指導の充実。 ・学校行事や部活動等をとおした豊かな人間性の育成。安全・安心な教育環境。 <p><地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力、体力、コミュニケーション力を備え、将来地域社会で主体的に活躍できる人材育成。 ・授業や学校行事の公開、部活動の交流、地域行事への参画をとおした開かれた学校。 	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p><家庭></p> <p>学力伸長および進路希望実現や、豊かな人間性の育成に向けての教職員による支援と十分な情報提供。</p> <p><中学校></p> <p>本校の特色や生徒の学校生活の様子、進路状況などの情報提供。</p> <p><地域></p> <p>学校行事等の公開。地域活性化のために地域行事や防災活動等への生徒の参画。</p>	<p><家庭></p> <p>学校教育への理解と協力。基本的な生活習慣の確立や進路希望実現に向けた支援。</p> <p><中学校></p> <p>基本的な生活習慣の確立と基礎学力の定着に向けた相互協力。情報交換と協力・支援。</p> <p><地域></p> <p>学校の教育活動や生徒が生き方や働き方を考えるための協力・支援。</p>

<p>(3) 前年度の学校関係者評価等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年度の人権教育では、新型コロナウイルス感染症に対する差別を考えてみてはどうか。生徒への不適切発言があるなど、教員側も問題意識をもって取り組んでいただきたい。 ・ 学校行事等の運営に、生徒の声を聴く機会を設けてはどうか。 ・ 今年度、ICT教育が実施されたが、コロナ禍であるから実施したというのではなく、教育内容の質を向上させるチャンスとして捉え、学校教育のなかに取り入れていただきたい。 ・ 本校は、自転車での通学者が多いこともあり、安全運転講習を強化していただきたい。特に、スマホを見ながらの危険運転や道幅いっぱい広がる並進運転は大変危険である。桑名西高校の生徒は、しっかりと挨拶してくれる。 ・ 今年度、開催できなかった「防災 in くわにし」を、来年度は、久米地区や下野地区と連携して取り組んでいただきたい。 ・ 時間外勤務労働 80 時間超えの教職員が多い。業務の偏りをなくすことを検討してはどうか。 				
<p>(4) 現状と課題</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td data-bbox="268 651 379 949" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <p>教育活動</p> </td> <td data-bbox="379 651 1505 949"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら挑戦する心を持ち、自主的に自己の生きる力を伸ばすことができる生徒の育成が求められていることなどから、3年間を通したキャリア教育計画の策定・実践など、生徒の意欲向上に向けた全校的な取組の推進が必要である。 ○ 4年制大学等への進学志向が高まっており、多様な入試機会を積極的に活用し自らの進路を切り拓こうと挑戦する生徒が増えている。 ○ 第一志望合格に向けて粘り強く最後まで学習する指導を強化しており、指導方法や進路指導体制のさらなる改善が必要である。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="268 949 379 1196" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <p>学校運営等</p> </td> <td data-bbox="379 949 1505 1196"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会で求められる力の育成のため、教科横断的で探究的な学習を着実に実施できる体制を構築する必要がある。 ○ 情報共有や意思統一を円滑に図るため、ICT機器の活用やシステムの改善など一層の工夫が必要である。 ○ 休暇取得の促進や定時退校日の遵守、また業務内容の改善や部活動の在り方の検討など、職員のワークライフバランスの改善に向けた取り組みが必要である。 </td> </tr> </table>	<p>教育活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら挑戦する心を持ち、自主的に自己の生きる力を伸ばすことができる生徒の育成が求められていることなどから、3年間を通したキャリア教育計画の策定・実践など、生徒の意欲向上に向けた全校的な取組の推進が必要である。 ○ 4年制大学等への進学志向が高まっており、多様な入試機会を積極的に活用し自らの進路を切り拓こうと挑戦する生徒が増えている。 ○ 第一志望合格に向けて粘り強く最後まで学習する指導を強化しており、指導方法や進路指導体制のさらなる改善が必要である。 	<p>学校運営等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会で求められる力の育成のため、教科横断的で探究的な学習を着実に実施できる体制を構築する必要がある。 ○ 情報共有や意思統一を円滑に図るため、ICT機器の活用やシステムの改善など一層の工夫が必要である。 ○ 休暇取得の促進や定時退校日の遵守、また業務内容の改善や部活動の在り方の検討など、職員のワークライフバランスの改善に向けた取り組みが必要である。
<p>教育活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら挑戦する心を持ち、自主的に自己の生きる力を伸ばすことができる生徒の育成が求められていることなどから、3年間を通したキャリア教育計画の策定・実践など、生徒の意欲向上に向けた全校的な取組の推進が必要である。 ○ 4年制大学等への進学志向が高まっており、多様な入試機会を積極的に活用し自らの進路を切り拓こうと挑戦する生徒が増えている。 ○ 第一志望合格に向けて粘り強く最後まで学習する指導を強化しており、指導方法や進路指導体制のさらなる改善が必要である。 				
<p>学校運営等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会で求められる力の育成のため、教科横断的で探究的な学習を着実に実施できる体制を構築する必要がある。 ○ 情報共有や意思統一を円滑に図るため、ICT機器の活用やシステムの改善など一層の工夫が必要である。 ○ 休暇取得の促進や定時退校日の遵守、また業務内容の改善や部活動の在り方の検討など、職員のワークライフバランスの改善に向けた取り組みが必要である。 				

3 中長期的な重点目標

<p>教育活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個々の生徒がより高い目標を設定し、自ら学ぶ姿勢を身につけ、自己の可能性を伸ばすことができる学習活動を推進する。またその実践のため、教員一人ひとりが指導力の向上を図る。 ○ 学校生活を通して主体的に行動することができ、社会性、協調性、責任感、創造力、企画力、コミュニケーション力、忍耐力などを身につけ、心身共にたくましく、他者への共感ができる生徒を育成する。 ○ 命を大切にし、自己肯定感を高め、一人ひとりが大切にされる人権感覚あふれる学校づくりを推進する。
<p>学校運営等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導内容や評価方法について教科会での活発な議論を推進するとともに、学校全体として学力向上や授業力向上に向けた新たな企画や改善策を積極的に提案し合い実行できる体制を構築する。 ○ 目的意識の共有化を図り、組織力を向上させるとともに、地域の多様な関係者と連携することなどにより、有為な社会人を育成するために最適な教育環境を創造する。 ○ 総勤務時間の縮減など、教職員が健康で意欲的に働くことができる職場環境づくりに取り組む。

	<p>(3) 学校説明会を開催することにより、桑名西高校の魅力を中学生や保護者に発信していく。</p> <p>(4) 教育公務員として法令等を常に遵守するとともに、高い倫理観と崇高な使命感を持って職務に専念し、不祥事根絶に向けて職員会議等で討議し、職場全体で取り組んでいく。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP やきずなメール、学年通信等による積極的情報発信。マスメディアへの情報提供。 ・防災訓練や防災研修会を年2回実施。 ・地域から参加要請があった各種行事への積極的参加の推進。 ・中学生に親しみやすく、わかり易い学校パンフレットの制作。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPの更新回数5回以上/月平均(4.7回) ・年1回以上地域の活動に参加したと回答した生徒の割合9割(100%) ・学校説明会および学校見学会に参加して本校の様子がよくわかったと回答した中学生の割合9割(99%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会は中止したが、日時を変更して、クラブ見学会を実施した。 ・不祥事根絶に向けて、職員会議や朝の打合せ等で注意喚起を促した。 ・コロナ禍により、年2回の防災訓練・防災inくわにしが開催できなかったが、非常時だからこそできる訓練・学習を検討してまいりたい。 ・学校案内は読者対象を中学3年生に絞り、より親しみやすいように編集を工夫した。 ・4.5回以上/月平均 <p>地域清掃活動参加100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会実施できず。 ・クラブ見学会に参加して本校の様子がよくわかったと回答した中学生の割合99% 	<p>※</p> <p>※</p> <p>※</p>
<p>キャリア教育の充実</p>	<p>(1) 大学入学共通テストや一般入試を視野に入れて受験勉強に取り組むとともに、国公立大学における推薦入試の積極的な活用を図る。</p> <p>(2) 生徒の多種多様な進路希望が実現できる、きめ細かい指導・支援を図る。</p> <p>(3) 一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育む。</p> <p>(4) キャリア教育を推進し、これまでの自分を振り返り、現在を理解、これからの生き方を考えることにより、自主的自発的に学校教育活動に向かう生徒を育成する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学進学希望者の大学入学共通テスト・一般入試受験を促進。 ・就職希望者への面談の充実を図る。 ・進路講話、進路ガイダンス(入試に向けて・学部学科選択・文理選択)、ようこそ先輩、卒業生講話の実施。 ・校外模試(全統模試・進研模試・看護模試・公務員模試)、自己診断テスト(スタディーサポート・R-CAP)の活用。 ・1日看護体験、保育体験、作業療法士体験等の奨励。 ・探究学習プロジェクトを組織し学年別に探究活動を実施。 ・授業及び総合的な探究の時間を活用した「18歳選挙権」関連講座の実施。 ・ホームルーム活動、生徒会活動、部活動、教育委員会や地域と連携した活動の活性化。 	<p>共通テスト210名出願。</p> <p>国公立総合型3名中1名合格</p> <p>学校推薦型8名中5名合格</p> <p>進路講話(1年1回・2年2回・3年3回)</p> <p>進路ガイダンス・ようこそ先輩・卒業生講話等で生徒の進路選択・進路実現に向けた取り組みの支援を行った。</p> <p>また、校外模試、看護キャリアデザイン講座・オンライン看護医療説明会・就職希望者面談、キャリアガイダンスなどそれぞれの生徒の進路希望に基づいた支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生：期日前投票(10/20) ・2年生：18歳選挙関連講座(2/2 体育館) ・1年生：授業内で「私たちが拓く日本の未来」を使用 	<p>◎</p> <p>※</p> <p>※</p>

	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己の進路希望実現に向けて最後まで粘り強く努力したと回答した生徒の割合 9割 (88.3%) 	<ul style="list-style-type: none"> 91.7%の生徒が努力したと回答した。 	
生徒指導の充実	<p>(1) 挨拶・清掃・身だしなみ「当たり前を素晴らしく」を目標に掲げ、生徒自らが進んで学校生活を過ごすことを目的としている。生徒や教職員が積極的に挨拶を交わす関係を築くことで、他者を思いやり、自らを大切にする態度を育て、人間関係を育む。</p> <p>(2) 美化意識の向上、校内美化・清掃活動に積極的に取り組む。また自転車運転に対するマナーを向上させ、交通事故等の未然防止につとめる。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめ防止、薬物乱用防止、交通安全（特に自転車事故の防止）、ネットモラル等の講演会の実施、年間を通じた登下校指導の実施。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自ら進んで挨拶をすることができるという回答した生徒の割合 9割 (91.8%) 校内美化・清掃活動に努めることが出来たと回答した生徒の割合 9割 (91.3%) 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でありながら、すべての講演会を実施し、未然防止や啓発に努めることができた。 ネットモラル教室の開催時期については来年度検討が必要。 昨年よりやや成果が下がったと思われる。挨拶や清掃がしっかりとできる学校づくりを目指して取り組んでまいりたい。 挨拶することができた生徒 87.2% 校内美化に努めることができた生徒 87.3% 	※ ◎
心と体の健康の充実	<p>(1) 高校生に必要な健康に関する知識の獲得と意識の高揚を図り、自己管理能力をつける。</p> <p>(2) 早期の問題発見・解決に向けて、担任・学年団・分掌・スクールカウンセラーとの連携を密にし、教育相談および特別支援教育の充実を図る。</p> <p>(3) 生徒の様々な課題に対応するため、スクールソーシャルワーカーと共に支援を行う。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「保健だより」を年間12回以上発行 「いのちの教育」について生徒対象講演会を年1回実施。 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として手洗い慣行とともに、年間を通じて校内消毒、毎朝検温確認を実施。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分自身の心と体の状態を理解することができたという回答した生徒の割合 9割 (87.3%) 	<ul style="list-style-type: none"> 保健室利用者の個別指導に保護者とも協力しながら、取り組んだ。 保健指導や教育相談の状況を情報共有し、学年やSC・支援員と共に課題解決に向けて取り組んだ。 新型コロナウイルス関連の感染防止対策、啓発、掲示等に取り組んだ。 保健だより17回発行 講演会中止 現職教育1回実施。 心と体の状態を理解した生徒 84.0% 	◎ ※ ◎ ◎
改善課題			
<p>新型コロナウイルス感染症対策</p> <p>(1) 毎日の検温指導、昼食時の黙食の励行や3密を回避するため特別教室等の開放、教室等の換気指導の徹底。</p> <p>(2) 9月に実施予定であった学校説明会を、11月にクラブ見学会として開催。約400名が参加。</p> <p>学校HPに学校紹介動画を配信。来年度は、さらに本校の特色と魅力を中学生に伝えやすい内容の検討。</p> <p>(3) 通学バス内の3密を回避するため、昨年度より引き続き臨時バスを運行。(保護者や一般乗客からの理解)</p> <p>生徒の安全・安心の取組</p> <p>(1) 昨年度、改善事項の交通事故防止のための自転車運転実技講習会を実施。(10/27:三重県警・JA共済)</p> <p>(2) 学期に1回、学校生活アンケートを実施し、担任との個人面談等を通じて、いじめ等の早期発見・早期対応に努めている。また、特別支援教育コーディネーターを中心に、SC・SSW・発達障がい支援員・教育相談員との情報共有を密にして、生徒にとって適切な配慮や支援をおこなう。</p>			

ICT教育の推進

- (1) 来年度、情報委員会を新たに立ち上げ、生徒が資料等を見て自分で考える力の育成を目指していく。
- (2) Google アカウントや Googlechrome の実習を通して、様々な教科でも活用できる力を身に付ける。
- (3) 今年度は、教員対象の研修会を年間3回実施した。来年度も引き続き、研修会を実施することで、多くの教員がICT機器を活用できる仕組みを構築していく。

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
資質向上の取組	<p>(1) 教科会を定例化・活性化し、授業内容・評価方法の検討と授業力向上に取り組む。</p> <p>(2) 校内研修会の充実および外部研修等の成果を全職員で共有する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相互授業見学を1・2学期に各1週間実施。 ・ 各部主催の教職員研修を各年1回実施。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業改善が進み、生徒にとって満足度が高い授業が実施できたと回答した教職員の割合 8割 (69.8%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間割中に教科会を組み入れることによって、会議を実施しやすくなった。 ・ 授業公開週間を1,2学期に1週間ずつ設定した。1学期は校内の教員による相互授業見学としたが、2学期は外部に向け授業公開の案内を行った。 ・ 86.5% (オンライン授業の実施により満足度が向上したと思われる。) 	※
組織力の向上	<p>(1) 教職員間の対話を重視するとともに、特別支援教育推進委員会や学年会・教科会等で、生徒に関する情報共有を密にするとともに、学年・分掌の協力体制を強化していく。</p> <p>(2) 「運営委員会」「桑西向上委員会」において、組織運営及び入試制度や進学・就職指導の在り方・本校の魅力化等について継続して検討していく。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織力の向上に向けた積極的な情報共有と改善に向けた様々な提案 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校務運営に積極的に関わることができたと回答した教職員の割合 8割 (76.7%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒に関する情報を会議や打合せ等で共有し、生徒に寄り添った指導を実践することができた。 ・ 向上委員会において、教職員の不祥事根絶に向けた取組やテスト中の部活動を検討し、生徒や教職員の意見を集約することができた。 ・ 会議の精選や教員のやる気等を考慮した適材適所の配置などの取組をおこなう。 ・ 83.8% (コロナ禍により、学校行事の延期や見直し等により、教職員が積極的に校務運営に関わることができたとと思われる。) 	◎ ※

働きやすい職場づくり	<p>(1) 会議の精選や構成メンバーの見直しなどにより、労働時間の適正化に努め、定時退校や有給休暇の計画的取得、ライフステージに応じて必要となる休暇取得などを推進する。</p> <p>(2) 互いに職場の仲間を思いやり、教職員一人ひとりが、相手の意見や考えを尊重しながら、自由闊達に意見を言い合える風通しの良い職場環境づくりに努める。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定時退校日（月2回）を実施し、設定した日の定時に退校できる職員の割合 90%以上を目指す。（昨年実績 80.4%） ・ 部活動休養日を週1日以上設定し、計画通り実施できた部活動の割合 100%を目指していく。（昨年実績 96.6%） ・ 会議の所要時間を60分以内にする割合 80%以上を目指す。（昨年実績 72.4%） <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身のワークライフバランスが向上したと回答した教職員の割合 60%以上を目指す。（昨年実績 44.2%） ・ 休暇を一人平均年 18 日以上取得。（昨年実績 17.7 日） ・ 時間外労働月 80 時間を超える職員の年間延べ人数を 2 割削減（昨年実績 24 人） ・ 時間外労働を一人平均月 1 時間削減（昨年実績一人平均月 17.8 時間） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度も会議の精選や構成メンバーの見直しを実行できた。 ・ 定時退校日や学校閉校日の推進や教職員とのコミュニケーションを図り、働きやすい職場環境の構築を目指していく。 ・ 72.6%（オンライン授業・部活動指導） ・ 96.1%（10月以降の公式大会による） ・ 74.6%（コロナ対策による行事変更等） ・ 56.8%（昨年度と比べ、向上することができたが、目標値には到達できなかった） ・ 16.9 日 ・ 26 人（4月～12月） 一人平均 23.2 時間（休業明けの部活動指導やオンライン授業準備等） 	<p>※</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>※</p> <p>※</p> <p>※</p> <p>※</p>
------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------

改善課題

向上委員会より

(1) 教職員の不祥事根絶に向けた本校の取組方針

- ・ 当事者意識を持って不祥事根絶に取り組む。
- ・ 法令を遵守する。
- ・ 生徒の人権を尊重する。
- ・ 教職員が互いに敬意と信頼に基づく職場環境を築く。

※テーマ ・ 不適切発言 ・ 情報漏洩 ・ 交通事故 ・ SNS の取り扱い ・ 体罰 ・ わいせつ行為 ・ 飲酒運転
 ※本校で考えられる不祥事とその未然防止に向けた取組について

(2) 定期考査中の部活動について

- ・ 考査1週間前からは、原則クラブ活動は禁止とする。
- ・ 届出により、17時まで活動可。
- ・ 考査後の翌週土日までに公式大会がある場合、部活動承諾書を提出することで19時まで活動可。
 （土日の練習は3時間以内） ※部活動承諾書 生徒・保護者の同意を得たもの。

教職員の総勤務時間縮減に向けての取組

(1) 部活動指導時間の縮減。

- ・ 副顧問や外部指導員との指導分担により、指導時間を縮減する。
- ・ 部活動時間の効率化（1日2時間以内・週4日等）
- ・ 練習内容の検討（部員が主体的に練習に取り組めるよう、やる気と自主性を重視）

(2) 業務の効率化

- ・ 教職員朝の打合せをオンラインで実施。（職員室への移動時間など。）
- ・ 会議の精選や時間の短縮。（構成メンバー縮減や終了目標時間の設定など。）

5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍により実施することができなかった行事と、感染対策等を講じながら実施することができた行事について、次年度に向け整理する必要がある。例えば、実施することができなかった事業について、他の方法はなかったのか、また実施できないことにより、生徒等への影響等の検討もおこない、来年度に活かしていただきたい。来年度もコロナにより、生徒の体験や経験が損なわれることのないようお願いしたい。 ・ 各行事がマンネリ化していないかなど、再検討が必要ではないか。 ・ 今年度の公開人権LHRで、性の多様性についての取組を進めていただきたい。 ・ コロナ禍で成果があった指標「学校運営（授業満足度、参画意識）・教育活動（キャリア教育）」を維持していくためのポイントを教職員や生徒と共有しておくとの良いのではないか。 ・ 令和3年度生徒学校満足度アンケートの結果をもとに、生徒が主体的に授業に参加する授業の在り方（キャリア教育につながり、生徒の進路希望実現に導くと考える）について、教科会等でさらに深めていただきたい。 ・ 防災教育や人権学習の内容は、中学校で定番になっている題材もあるので、一考が必要ではないか。
----------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度に引き続き、生徒が安全に登校できるよう、教職員による登下校指導や交通安全講習を開催していく。また、自転車（ブレーキ・ライト等）の点検も実施していく。 ・ 学校案内については、中学生が興味を示す内容やデザインに刷新することができたが、さらに本校生徒のアイデアも取り入れた学校案内としていきたい。 ・ 来年度も引き続き、学校HPの担当者を設け、本校の取組状況や部活動の様子などを外部に発信し、さらに生徒会活動などの学校行事や地域との取組なども発信してまいりたい。 ・ 来年度は、生徒の貴重な学びや思い出が失われることのないよう、コロナ禍であっても開催できる学校行事の検討に取り組んでいく。 ・ コロナ禍でも実施できる防災教育を検討していく。 ・ 校内でのICT研修会をさらに充実させ、オンライン授業やICTの効果的な活用を図り、生徒が主体的に学ぶことができる体制を構築していく。
<p>学校運営についての改善策</p>	<p>教職員の多忙化解消に向けた取組や休暇を取得しやすい対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 月2回の定時退校日を設定する。 ・ 部活動休養日を週1日以上設定する。 ・ 会議の設定時間を60分以内とするよう、取り組んでいく。 ・ 時間外労働の上限である年360時間、月45時間を超える教職員への面談を実施し、長時間労働解消に向けた取組を推進していく。 ・ 年2回以上の学校閉校日を設定する。